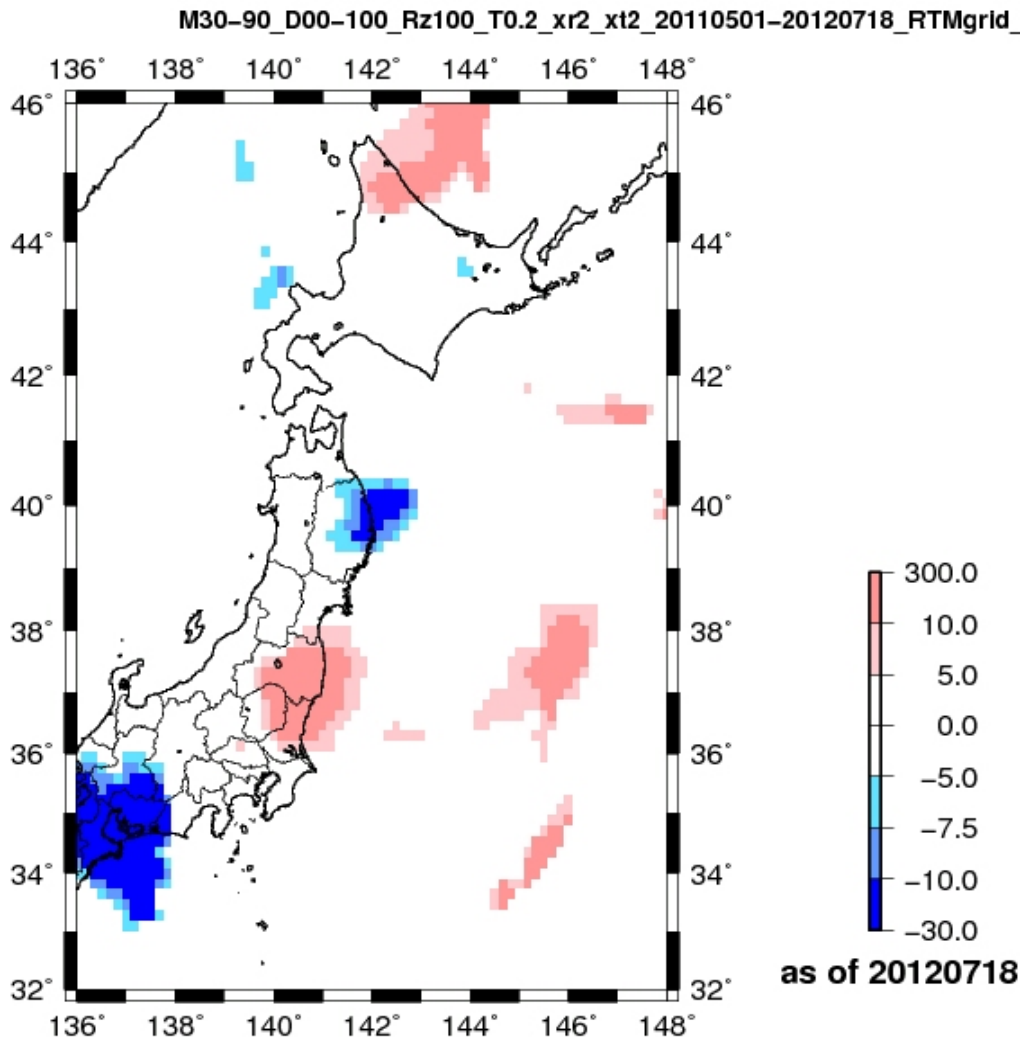


東北・北海道地方の状況

これまで、3月11日の地震の影響で、東日本の地震活動のパターンが大きく変わってしまい、非常に評価が難しい状況が続いていました。ようやく少し地震活動が落ち着きを見せてきましたので、今後東日本の地下天気図も公表していきたいと思えます。

なお、解析に使用した期間は今年の5月1日以降、さらに東北沖や北海道沖の活動をメインの解析対象としていますため、従来お知らせしてきた関東西部、東海、中部、関西地方の解析に用いている地震より規模の大きな地震（マグニチュード3以上）を使用しています。そのため、解析に使用できる地震の数がかなり少なくなっています。図では東海地方や特に関西地方で大きな異常（青い領域）が出ていますが、これらの精度は低いとお考えください。特に愛知以西の静穏化領域は京都や滋賀、三重も含んでいますが、これは京都大学が従来から主張しているここ2-3年続く「静穏化」とは別の、ここ1-2ヶ月の短期的な静穏化です。この図では東北や北海道に注目してください。今後もより検討を加え、皆様に状況をお伝えしていきたいと思えます。



7月18日時点での地下天気図。より重要なのは岩手県周辺の静穏化